

UHCと結核対策

- 相互貢献:日本とアジア諸国から学んだ教訓 -

1960年代にUHCを達成した日本を1つとのモデルとして、結核対策とUHC発展との関係、結核対策がUHC達成に寄与した要因を共有する。結核対策は経済状況や疾病状況に合わせてどのようにUHCに活かすことができるのか、また、UHCの進展が、結核対策にどのような効果をもたらすのか他のアジア諸国の経験、今後の課題についても論じます

詳細 → <http://www.stoptb.jp/blog/2017/11/22/172>

■ 基調講演

■ 國井修 (グローバルファンド 戦略投資効果局長)



■ 日時: 2017年12月12日(火)

18:30~21:00 (軽食の準備あり)

■ 場所: ホテルメルパルク TOKYO 3F 薔薇

東京都港区芝公園2-5-20

■ アクセス

- ・東京プリンスホテルより徒歩約10分
- ・JR(山手線・京浜東北線)
浜松町駅北口または南口から徒歩約8分
- ・都営地下鉄三田線 芝公園駅
A3出口から徒歩約2分
- ・都営地下鉄浅草線・都営地下鉄大江戸線
大門駅A3・A6出口から徒歩約4分、
A1出口から徒歩約5分

■ 演者

加藤誠也 (結核予防会結核研究所所長)、国家結核対策フィリピン、国家結核対策ミャンマー、石川信克(結核予防会結核研究所名誉所長、ストップ結核パートナーシップ日本理事)

■ 指定発言など ※ドラフト

Eric Goosby, USCF School of Medicine; UN Special Envoy on TB、Suvanand Sahu, Deputy Executive Director Stop TB Partnership、国際協力機構、池田千絵子(厚生労働省総括審議官国際保健担当)、鷲見学(外務省国際協力局国際保健政策室長)

■ 座長

加藤誠也 (結核予防会結核研究所所長)、岡田耕輔(結核予防会国際部長、ストップ結核パートナーシップ日本常任理事)

※言語:英語

■ お申し込み

ストップ結核パートナーシップ日本へ、お名前、所属、連絡先(Eメールまたは電話番号)を明記の上、FAXまたはEメールでお申込みください。【締切】12月5日

FAX: 03-5980 8267 / E-mail: Satellite.Sympo.TB@gmail.com